



# クモ調査会

ジュンサイを残そう市民の会

2022年10月9日(日)

例年一般の参加者を募集して『クモ観察会』を実施していますが、  
今年は新型コロナ感染拡大防止のため、会員による観察のみ行いました。

## ジョロウグモ

▶ 立体馬蹄形円網。  
網が三層構造になっている。



ジョロウグモ♀



ジョロウグモの巣を観察中。

### 同じジョロウグモでも違う!?

ジョロウグモの脚の色は？  
福岡より北では「黄色と黒」。  
でも、沖縄では「黒一色」が主流！  
一律にジョロウグモとよばれていても、  
場所によってこんなにはっきり違いがあるのですね。

ほかに、北上するほど個体が小さくなるなど違いがあります。また、日長により、卵休眠にも違いがあるそうです。

## クサグモ

▶ たな網。

クサグモは、幼体で越冬します。  
暖かい卵のうの中で春を待つのですね。



↑クサグモの卵のう

## カグヤヒメグモ

▶ 立体的な不規則網。



↑体長5mmほど

## ジグモ

▶ 地中性。袋状の巣。



↑ジグモの巣

講師 日本蜘蛛学会会員  
加藤 輝代子氏  
(ジュンサイを残そう市民の会会員)

## ヒラタグモ

▶ テント網。昔は、家の外壁などに普通にいたクモ。



巣から放射線状に何本も張られた受信糸。  
受信糸は電柱のようなもので支えられ、宙に浮かせて張られています。  
ここを虫が通ると振動をキャッチし、巣の中から出てきて捕食します。

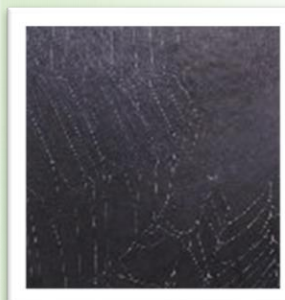
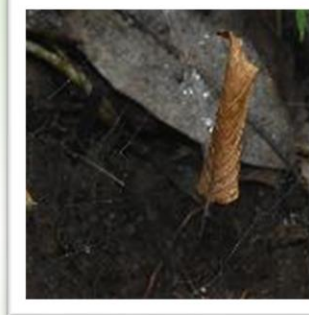


↑ まるで敷布団&掛け布団のようなシートの中に住んでいます。  
シートをめくったらヒラタグモが見えました。

## ハツリグモ

▶ 葉を吊る。落ち葉が多く、日光や風雨をしのげる場所に住む。

地面から5cmほどの高さに、→  
枯れ葉が浮いているように見えます。  
ハツリグモはこの枯れ葉の中にいます。



↑ハツリグモの巣



よく見ると、  
枯れ葉の間から  
脚が3本見えています！

## じゅん菜池緑地で 観察できたクモ (巣、卵のうを含む)

- ① ヒラタグモ
- ② クサグモ卵のう
- ③ ジョロウグモ
- ④ シロカネイソウロウグモ
- ⑤ ジグモ巣
- ⑥ カグヤヒメグモ
- ⑦ ハツリグモ
- ⑧ オオシロカネグモ
- ⑨ アシナガグモ
- ⑩ キシノウエトタテグモ
- ⑪ デーニッツハエトリ
- ⑫ ヨダンハエトリ